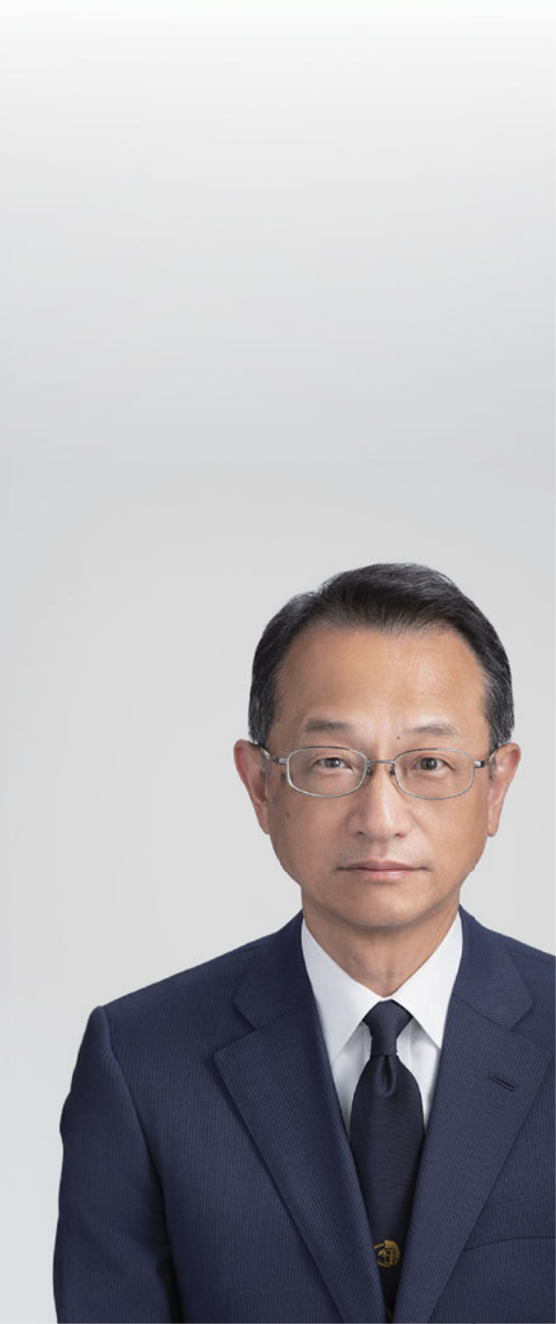




行政研究所長
西川伸一
(政治経済学部教授)

行研へのいざない ～「縁の下の力持ち」の矜持～

「縁の下の力持ち」という言葉があります。国語辞典を引くと「人に知られないが、陰で努力・苦勞すること。また、その人」と出てきます(『広辞苑』)。「縁の下」とは「縁側のゆかした」(『同』)のことです。私が子どもだったころの自宅にはありましたが、もはや昭和の「遺物」でみなさんにはイメージがわからないかもしれません。アニメの「サザエさん」をみてください。猫のタマがよく縁の下に隠れています。

さて、去年の元日に発生した能登半島地震は228人もの尊い命を奪いました。加えて、災害関連死は昨年12月17日時点で247人となり、地震の直接死を上回っています。災害関連死とは、災害で負ったけがが悪化したり、避難生活での身体的負担で病気になったりして死亡することです。「エコノミークラス症候群」が原因で亡くなるのはその一例です。

石破茂首相は昨年10月の臨時国会で行った所信表明演説で「災害関連死ゼロの実現」を掲げました。国際基準に沿ってTKB(トイレ、キッチン、ベッド)を配備する官民連携体制をつくとのこと。内閣府はエコノミークラス症候群などを防ぐために、簡易ベッドを避難所の開設時に設置するよう自治体に求めることにしました。避難所の運営は市役所や町村役場の職員が中心となります。とはいえ大災害では職員自身が被災者になる場合が多く、彼らだけでは十分な支援ができません。そのときは都道府県が、さらには国がリーダーシップを発揮して取り組むべきだとの意見もきかれます。ただ、そのためのルールがまだ未整備のようです。

いずれにせよ、市町村―都道府県―国という各段階の公務員が緊密に連携して、社会の「縁の下の力持ち」の役割を十分に発揮できる体制をつくる。これによってはじめて「災害関連死ゼロの実現」が可能になることでしょう。こうした公務員の仕事に魅力を感じる学生は、ぜひ私たち行政研究所(略称・行研ぎょうけん)に入室してください。行研は公務員試験合格を目指す学生たちに、勉強する場所とプロ講師による充実した授業を提供しています。そこには、同じ志を持つ多くの仲間が集ります。ちなみに2024年度春の国家公務員採用総合職試験で、明治大学からは40名が合格し、全国で15位、私立大学で5位になりました。まだまだ伸びしろはあります。「叩けよさらば開かれん」です。すぐに行動を起こして、行研であなたの近未来を具体的に設計してみませんか。

2025年4月1日

行政研究所(以下、行研)に関心をお持ち頂き、ありがとうございます。OB・OG会長の中川喜郎です。将来の仕事として公務員をお考えの皆さんへ、一筆啓上致します。

大学1年生の4月、私は、これから迎えるキャンパスライフに胸を膨らませていました。その一方、「将来、公務員として社会に貢献したい」という夢はあったものの、どうしたらいいか、何から始めれば良いかわからず、悩んでいました。学業と私生活、将来の夢―三者のバランスを取り、大学生生活を満喫する方法はないか……。模索を続ける中、「公務員を志す明大生のための明治大学の組織」として、行研の存在を知りました。

幸い入室試験に合格し、卒業まで4年間、大変お世話になりました。私にとって行研は、サークル活動であり、日常生活の場でした。行研生専用の自習室に入り浸り、自慢の「すっぴん勝負」の授業で不明点を聞きまくるなど、存分に活用させて頂きました。論文対策では、毎回真っ赤になって返却される答案に愕然としつつも、そのたびに先生の粘り強い面倒見の良さに救われたことは、良き思い出です。

また、勉強面に限らず、同期や先輩・後輩、先生、事務局の方との関連な交流も行研ならではの特色です。仲間とは合宿やラグビー観戦、入室試験の実施、スポーツイベントの企画など、多くの交流の機会に恵まれました。そうした機会への参加や運営を通じて、「縁の下の力持ちとして、仲間に笑顔を届ける醍醐味」を堪能させて頂きました。この経験は、公務員として働く今も、大切な糧として生き続けています。

どうか、少しでも「公務員になりたい」という思いをお持ちでしたら、ぜひ行研の門を叩いてみてください。踏み出す一歩が未来を切り開き、目標達成への歩みが自身をさらなる高みへと導いてくれます。行研で切磋琢磨され、実力と人間性を兼ね備えた人財に成長された皆さんと共に、住民、国民のため、公務に携われる事を楽しみにしています。



明治大学 行政研究所 OBOG 会長
中川喜郎
(東京都庁)

踏み出す一歩が未来を開く 中川喜郎

沿 革 公務員を志す明大生のために

行政研究所は、1957年(昭和32年)故弓家七郎名誉教授(当時政治経済学部長)により明治大学行政研究指導室として設立されました。当時の目的は、「国家公務員上級試験および地方公務員を目指す特別研究生に対する指導を行い、併せて母校明治大学の学風振興に寄与しようとする」とあり、初代特別研究生は約10名でした。それ以後、時代を経るとともに組織は様々に変化しながら、その設立以来、多くの有為な人材を輩出してきました。設立から50年が経った2007年(平成19年)に、大学に新たに設置された国家試験指導センターの傘下に位置づけ直され、現在に至っています。現在では、目標を「一人でも多くの国家公務員採用総合職試験最終合格者を輩出すること」としています。現在、公務員は学生に根強

い人気がある職種の1つです。そして、公務員になるためには「公務員試験」を突破する必要があります。しかしながら、この「公務員試験」は大学入学試験以上の範囲と知識量を求められるものです。すなわち、ただがむしやりに勉強しているだけでは合格することが難しい試験と言わざるを得ません。そのような「公務員試験」の対策として、民間予備校、独学、あるいは大学が設置している対策講座などの手段が考えられます。しかし、いずれにおいても費用や情報量、精神的サポートなど、学生にとっての不安要素は尽きません。行政研究所は、「公務員を志す明大生のための明治大学の組織」です。皆さんが社会にとって有為な“良き公務員”として成長できるように、学業面に限らずあらゆる面で最大限のサポートをすることをお約束します。

募集概要（文系学生向け）

1年生：約100名、2年生：約100名（継続生含む）を募集します。

1	入室ガイダンス	4月3日(木)14:00～15:00 4月4日(金)12:00～13:00	【和泉図書館ホール】 【和泉図書館ホール】 ※両日とも同内容です
2	申し込み	詳しくは、国家試験指導センターホームページの「募集要項」をご確認ください。 https://www.meiji.ac.jp/netsc/admin_lab/accepted/accepted.html	
3	入室試験 :1 年生	4月19(土)午後 面談試験	【駿河台キャンパス】 ※1年生は面談試験のみです
	入室試験 :2 年生	4月12日(土)10:30～12:00 4月19日(土)午前 筆記試験 時事問題・一般教養・数的処理など合計 36 問 面接試験	【和泉キャンパス】 【駿河台キャンパス】 ※2年生は筆記・面接試験の受験が必須です
4	合格発表	4月22日(火)12時30分を目途に、Oh-o! Meiji を通じて可否をお知らせします	
	入室手続き	詳細については合格者のみ Oh-o! Meiji にて配信いたします。 内容を熟読の上、期日までに手続きをお済ませください。 室費：1年生 66,000 円 2年生 66,000 円 3年生 132,000 円 4年生 66,000 円 ※新規入室料 5,500 円	

【問い合わせ先】
行政研究所事務室(和泉キャンパス リエゾン棟2階)
TEL : 03-5300-1448 (平日のみ 10:00～18:00)
E-mail : izgyosei@cmm.meiji.ac.jp

FAQ

- Q. 理工系学生のための講座はありますか？

A. 理系公務員講座として技術系公務員を目指す人を対象とした講座が生田キャンパスで開催しています。
- Q. 民間就職と公務員は併願できますか？

A. 公務員採用にかかわる制度改革が行われ、民間就職と併願しやすいスケジュールになりました。例えば、国家総合職「教養区分」試験は19歳以上（主に2年生以上）から受験できるようになりました。また、専門区分での試験も3年生の終わりの3月に1次試験が、4年生の4月から5月に2次試験、そして6月に官庁訪問が行われます。
- Q. 自習席など勉強スペースのことを詳しく教えてください。

A. 1・2年生は和泉キャンパス内にある自習室などを土日祝日含めて7時30分から22時まで利用できます。自由席ですので私物を置くことはできませんが、抽選で専用ロッカーを使用することはできます。
3年生は駿河台キャンパスで夏休み前になると固定の自習席が割り当てられ、試験に向けて勉強を加速させていきます。自習席は講座が行われる教室にも隣接されていて、プロ講師たちとの距離感もグッと近くなり、所属する仲間たちと採用にかかわる情報交換も活発になります。官庁訪問など、面接対策の時期には1200名を超えるOB・OGたちの指導や心強いサポートも受けられます。



自習机にはゼミの先輩から貰ったぬいぐるみ等を飾ってモチベーションを維持しています。

カリキュラム

講座は科目それぞれのプロ講師が一貫して担当します。低学年から講師と長くコミュニケーションすることで、採用に直結する面接や政策論文では充実かつ熱心な指導を受けることができます。また、web受講フォローもあります。

1・2 年生 年間140コマ	通 年 経済学・数的処理・行政法	教養区分対策 GW・GD 集団討論
	春 学 期 憲法	秋 学 期 民法・政治学 文章理解
3 年 生 年間590コマ	共 通 科 目 ・ 専 門 科 目 法律系、経済系、行政系	
4 年 生 年間80コマ	専 門 記 述 対 策 個別指導・官庁訪問対策 面接指導など	

講師紹介

天田直樹 先生（法律系科目担当）
「行政」は国民の代表である国会が制定した法律に基づいて行われており（法律による行政の原理）、行政に携わる職員を採用する公務員試験においては、憲法・民法・行政法を中心に、刑法・商法・労働法なども試験科目とされている場合があります。志望先をイメージして、大学の学部の講義と行政研究所の試験対策講座の両方を活用して頑張りましょう。

近 裕一 先生（行政系科目担当）
行政系科目では、政治、行政、国際関係、社会一般について、幅広い知識を学んでいきます。学習を進めるほどに知識が相互に結びつき、面白さが分かってきますので、これから一緒に頑張っていきましょう。

蜂巢 旭 先生（経済系科目担当）
経済学は、授業後すぐに復習をすることが肝心です。グラフを描きながら論理を理解し、計算問題に慣れれば、本試験でも安定して得点できます。一緒に頑張りましょう！

宮脇真理子 先生（教養科目担当）
行政研究所では試験を突破するためのカリキュラムが十分に備えられています。また、現在の社会課題や解決のための方策を共に議論できるのが行政研究所の良いところです。社会のために立ち上がろうという皆さんを応援します。一緒に頑張りましょう。

加藤耕一 先生（法律系科目担当）
求められる人になろうと努力する学生への協力は惜しみません。行政研究所の講師は、各試験に合わせた講義だけでなく、面接に必要な話す力・聞く力を身につけられるように指導することのできる頼りになる方々です。行研究生であることを大いに活用して下さい。

関野 喬 先生（教養科目担当）
数的処理は算数とパズルを合わせた科目で教養試験の要諦です。「数」と聞き拒否反応を示した人も大丈夫。基礎から丁寧にやります。本当の意味での教養の話もできたらと思います。一緒に頑張りましょう。

平野真武 先生（経済系科目担当）
現在の日本は、多くの問題を抱えています。問題を解決し、より良い社会を作り出していくことは大変なことですが、大きなやりがいがあります。社会に対する興味と熱い思いを持った学生が、行政研究所に来ることを期待しています。

渡辺一郎 先生（法律系科目担当）
持続可能で豊かな日本、安全・安心な日本を築くため、行政の場では企画・立案・総合調整できる知識を備えた優秀な人材が必要不可欠です。多数の公務員を輩出した行研で、確実に試験を突破し、日本を支える「柱」の一人になってほしいと思います。一緒に、がんばりましょう！